

平成19年度県税歳入補正予算について

平成20年3月 総務部税政課

補正予算見積総額 + 105億6千万円 (+ 5.9%)

(当初 1,790億円 補正後 1,895億6千万円)

・対前年度決算比 + 320億2,974万円(+20.3%)

・法人二税、個人県民税を中心に増収となる。

《主な増額補正税目》

法人二税 + 92億9,040万円 (+ 14.1%)

(当初 660億8,000万円 補正後 753億7,040万円)

・対前年度決算比 + 82億2,542万円(+12.3%)

法人県民税 + 13億8,990万円 (+12.6%)

(当初 109億9,400万円 補正後 123億8,390万円)

・対前年度決算比 + 13億1,589万円(+11.9%)

法人事業税 + 79億0,050万円 (+14.3%)

(当初 550億8,600万円 補正後 629億8,650万円)

・対前年度決算比 + 69億0,953万円(+12.3%)

(要因)平成19年度の法人二税は、全体的に企業収益が引き続き改善したこと、また、一部大手法人の個別要因として繰越欠損金の解消や有価証券等売却益の計上等により税収が大幅に伸びたことから、当初見込みを大幅に上回った。

個人県民税 + 12億5,170万円 (+ 2.5%)

(当初 493億8,540万円 補正後 506億3,710万円)

・対前年度決算比 + 232億0,433万円(+47.6%)

(要因)株式等譲渡所得が増加したことや配当割で企業収益が高水準で推移したことなどから当初見込みを上回った。

軽油引取税 + 5億3,320万円 (+ 4.0%)

(当初 133億4,170万円 補正後 138億7,490万円)

・対前年度決算比 + 7億0,186万円(+5.3%)

(要因)原油価格の高騰等軽油需要の後退要因はあるものの、平成19年度は、大口販売業者の引取数量が増大したことにより、全体としては当初見込みを上回った。

県民税利子割 + 5億0,170万円 (+ 51.1%)

(当初 9億8,210万円 補正後 14億8,380万円)

・対前年度決算比 + 3億2,493万円(+28.0%)

(要因)銀行預金利子が大幅に伸びを示したことから、当初見込みを大幅に上回った。

《主な減額補正税目》

地方消費税 5億0,690万円 (4.1%)

(当初 123億2,240万円 補正後 118億1,550万円)

・対前年度決算比 2億6,951万円(2.2%)

(要因)個人消費の伸び悩みや輸出増に伴う還付増の影響により当初見込みを下回った。

不動産取得税 2億6,680万円 (4.8%)

(当初 55億2,150万円 補正後 52億5,470万円)

・対前年度決算比 + 2億4,032万円(+4.4%)

(要因)土地(宅地)をはじめとした不動産取引が減少したことから、当初見込みを下回った。

自動車取得税 1億6,820万円 (3.3%)

(当初 50億8,610万円 補正後 49億1,790万円)

・対前年度決算比 2億2,697万円(4.4%)

(要因)新規販売台数の減少に伴う課税台数の減少やグリーン税制による軽減額が増加したことから、当初見込みを下回った。

自動車税 1億0,110万円 (4.5%)

(当初 198億4,670万円 補正後 197億4,560万円)

・対前年度決算比 + 1,390万円(+0.1%)

(要因)自動車保有台数の伸び悩みや新規登録台数の減少から当初見込みを下回った。

《県税以外の歳入》

地方消費税清算金 4億4,807万円 (1.9%)

(当初 236億5,400万円 補正後 232億0,592万円)

・対前年度決算比 2億7,357万円(1.2%)

市町たばこ税県交付金 1億9,224万円 (17.5%)

(当初 10億9,700万円 補正後 9億0,476万円)

・対前年度決算比 13億7,956万円(60.4%)